

証券コード：6928



第51期 中間報告書

2016年4月1日～2016年9月30日



株主の皆様へ



代表取締役社長

武内 延公

株主の皆様におかれましては、格別なるご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。このたびの熊本地震及び鳥取県中部地震により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。第51期中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

エノモトグループは「経営の中心は人であり、健全なものづくりを通じて、豊かな社会の実現に貢献する」という志を経営理念とし、1962年（昭和37年）の創業以来、多くのプレス加工に関する新技術を開発し、打ち抜き加工・曲げ加工・絞り加工・樹脂成型加工等広範囲のジャンルの金型技術を確立し、また、日進月歩で軽薄短小化・高機能化・多機能化する市場ニーズに応えるべく、金属とプラスチックの超微細複合加工技術を確立し、日本のものづくりに貢献して参りました。

その時代で求められる市場ニーズにエノモト独自の技術力を駆使し迅速に対応を図ってきたこと

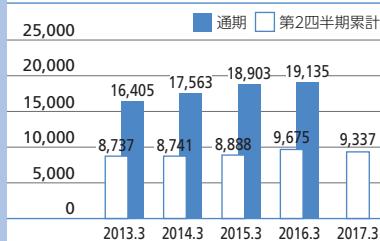
により、これまでにIC・トランジスタ用リードフレームをはじめ、リレー用部品、オプト用リードフレーム及びマイクロピッチコネクタ用部品へとその事業領域を順次拡大して参りました。

特に地球温暖化防止に貢献する省エネルギー関連製品として、急速に普及が進んでいるLED（発光ダイオード）に代表されるオプト用リードフレームをはじめ、ユビキタス時代の代表的なハードウェアであるスマートフォン等のIT機器に搭載されているマイクロピッチコネクタ用部品は、今後の社会の発展を支えるキーテクノロジーの一つであると自負しております。また、それらの製品を世

財務ハイライト（連結）

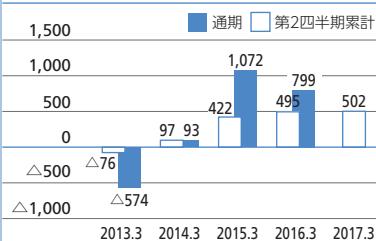
売上高

（単位：百万円）



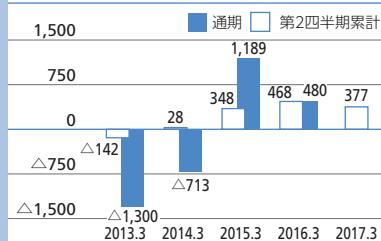
経常損益

（単位：百万円）



親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益

（単位：百万円）



界中の主要メーカーに供給していることにより、当社グループが今後とも豊かな社会を実現するために必要な存在であり続けることができるものと信じております。

当社グループは現状に甘んずることなく、将来のユーザーニーズ及び地域的需要に対応すべく、積極的に最適地生産体制の構築を進め、市場競争力の強化にも努めて参りました。現在、国内は本社（塩山、上野原）、津軽、岩手の計4工場体制、海外においてはフィリピン（カビテ、セブ）、及び中国の計3工場の体制をとっており、グローバルな供給体制に対応できるアジアでも有数の金属と樹脂の精密複合加工メーカーとして確固たる地位を確立しております。

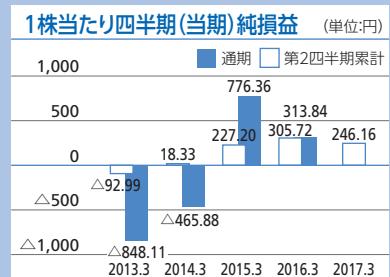
今春、2016年度から2020年度の5年間に当社グループの事業運営の指針となる、中期経営方針として『新たな価値の創造～他社が真似のできないものづくりを追求する～』を掲げました。これは、これまで5年間にわたり運用して参りました旧中期経営方針の主要テーマを維持しながら、当社が培ってきた技術力を最大限に活用し、更に上のステージへ踏み出していくための決意を込めたものとなっております。

当社グループは、中期的な経営方針として掲げた項目の実現のために、特に年度ごとに経営重点課題を設定して全社的な取り組みを推進しております。1年目にあたる2016年度の経営重点テーマには「現状打破」を掲げました。旧来の技術・事業分野・慣習・体質等に囚われず、経営資源の有効活用及び効率化を促進加速することにより、新たなビジネスモデルの確率を図り、更に上のレベルの経営品質を目指します。

なお、中間配当につきましては、昨今の不透明感極まる市場環境と現状の財務状況を鑑み、当初予想のとおり無配とさせていただくこととなりましたことを、株主の皆様へ深くお詫び申し上げます。引き続き収益力の向上を図り、株主還元の充実に向けなお一層の経営改善に努めて参ります。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社グループへのご理解と、今後の事業展開に向けた長期的なご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月



※2016年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しました。これに伴い、過年度の「1株当たり四半期純利益」を遡及修正しております。

事業別の概況

第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導の経済対策などの影響によって非製造業を中心に底堅さを維持しており、雇用環境の改善傾向や、既存資産の更新需要による設備投資の持ち直しなど、光明が差す一方で若年層を中心とした将来への不安感が根強く、個人消費の伸び悩みが足かせとなり力強さを欠いております。

海外におきましては、アメリカ経済の雇用環境は引き続き改善傾向を維持し、個人消費の推移も堅調なものとなっており、FRBにより9月の利上げは見送りが発表されたものの、年内には実行されるという観測も出るなど、当面は好調に推移すると予測されます。ヨーロッパ経済においては、ドイツの製造業に減速傾向が見られるほか、イギリスもEU離脱に伴う先行き不安感が強く、当面は大きな減速の危険性をはらんでいます。中国経済においては、民間投資の減速傾向、雇用環境を要因とする個人消費の悪化も変わりがなく、輸出入も低調であることから、未だ回復の兆しは見られません。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、以前のようなハイエンドスマートフォン市場の急激な需要増加はないものの、今秋発売の機種は現在のところ堅調な出荷量が予測されております。また、自動車市場においても、需要は横ばい基調ではありますが、電装化の進行により電子部品に対しての需要は増加傾向を維持しております。

このような状況下、当社グループは業務の見直しによる効率化と更なる技術の研鑽により、収益力の向上に努めて参りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は93億3千7百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。また、営業利益は5億3千9百万円（同11.3%増）、経常利益は5億2百万円（同1.6%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等合計額の増加等により3億7千7百万円（同19.5%減）となりました。

通期の見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、アメリカ経済は安定的な情勢であります。ヨーロッパ経済は政治的な混乱による消費者マインドの悪化などの不安要素をはらんでいます。また、中国経済の減速傾向は継続すると思われる、日本国内では一定の賃上げは実行されているものの、円高や株安といった要素による先行きの不透明感から、個人消費の回復は緩慢な状況が続くと予測されます。

現在、当社の主力となっているスマートフォン及びタブレット型端末向けのコネクタ用部品の需要は、以前のような新興国市場における急激な需要増加は期待できませんが、モバイル市場拡大の中心的アイテムであることから、今後も一定の水準は維持するものと見込んでおります。リードフレーム部門につきましても、オプト用リードフレームの受注環境は回復傾向にあり、IC・トランジスタ用リードフレームについても自動車の電装化率の上昇による安定的な需要が見込まれるため、全体として堅調な受注量を維持できるものと期待しております。

当社グループは、今後も事業環境の変化や、その他様々なリスクを考慮しつつ、積極的な事業展開を推進して参ります。

通期の連結業績予想

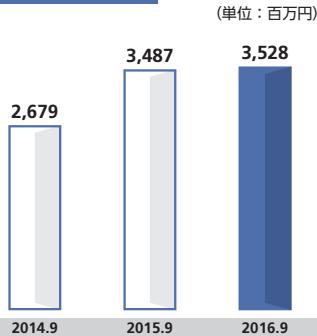
当第2四半期連結累計期間の業績は概ね予定どおりに推移しており、通期の見通しにつきましては当初予想のとおり、売上高は185億円（前連結会計年度比3.3%減）、営業利益8億5千万円、経常利益8億円、親会社株主に帰属する当期純利益6億円を見込んでおります。

売上高	18,500百万円
営業利益	850百万円
経常利益	800百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	600百万円

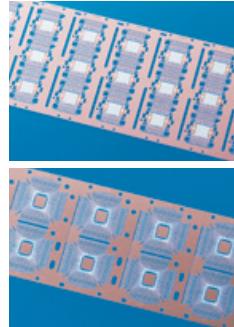
IC・トランジスタ用リードフレーム

売上高 35億2千8百万円 (前年同期比 1.2%増)

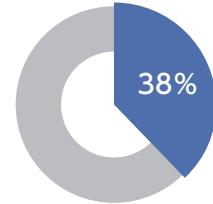
売上高推移



当製品群は、自動車向け、民生用機器向けが主なものであります。自動車の電装化率の上昇により、引き続き堅調な推移を見せております。その結果、当製品群の売上高は35億2千8百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。



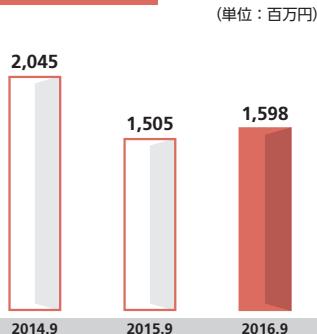
売上高比率



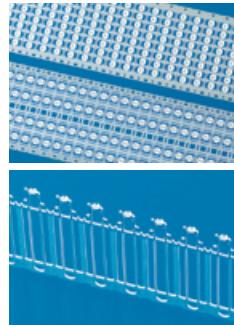
オプト用リードフレーム

売上高 15億9千8百万円 (前年同期比 6.2%増)

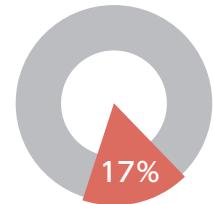
売上高推移



当製品群は、LED用リードフレームが主なものであります。自動車向け、照明向けの需要が向上した影響で回復基調にあります。その結果、当製品群の売上高は15億9千8百万円（同6.2%増）となりました。



売上高比率

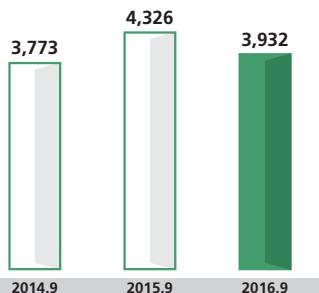


コネクタ用部品

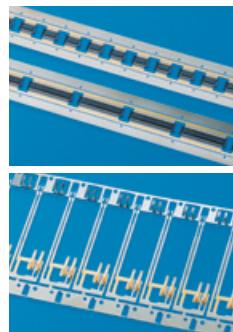
売上高 39億3千2百万円 (前年同期比 9.1%減)

売上高推移

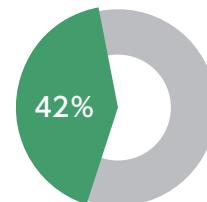
(単位：百万円)



当製品群は、スマートフォン向け、デジタル家電向けが主なものであります。特に、ハイエンドスマートフォン向け部品が中心であり、第1四半期には昨年秋発売機種の影響を受けましたが、今秋発売機種の出荷は堅調であり、回復基調にあります。その結果、当製品群の売上高は39億3千2百万円(同9.1%減)となりました。



売上高比率

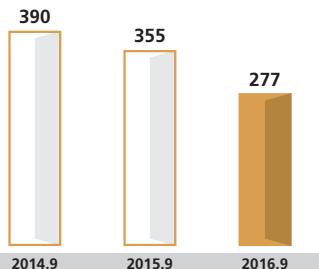


その他

売上高 2億7千7百万円 (前年同期比 21.9%減)

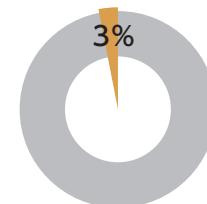
売上高推移

(単位：百万円)

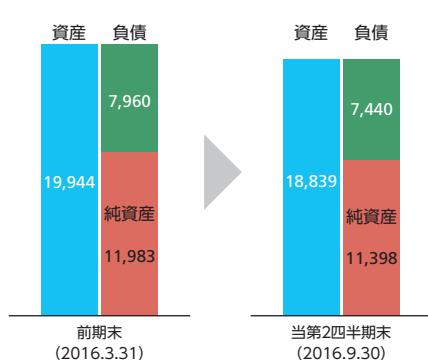


その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。当製品群の売上高は2億7千7百万円(同21.9%減)となりました。

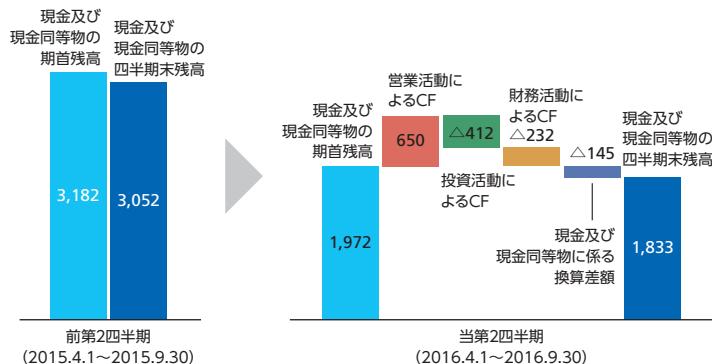
売上高比率



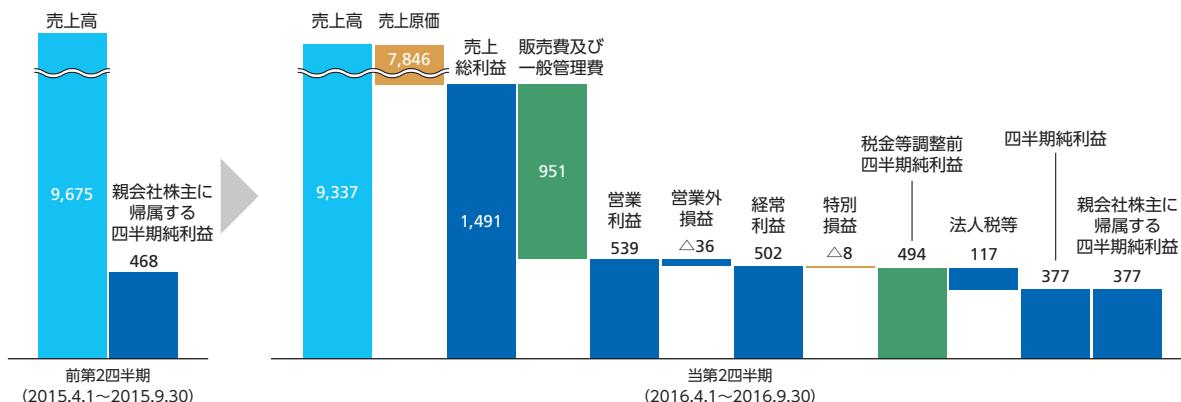
■ 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



■ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



POINT!

(連結貸借対照表)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期に比べ11億5百万円減少し、188億3千9百万円となりました。流動資産は、現現金及び棚卸資産の減少により前期に比べ4億2千3百万円減少の87億3千4百万円となり、固定資産は、主に在外子会社有形固定資産の為替換算額減少等により、前期に比べ6億8千2百万円減少の101億4百万円となりました。

一方、負債合計は、前期に比べ5億2千万円減少し、74億4千万円となりました。これは主に仕入債務及び借入金の減少によるものです。

また、純資産は為替換算調整勘定の減少により113億9千8百万円となりました。この結果、自己資本比率は、60.5%となりました。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期間末に比べ12億1千8百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には18億3千3百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は6億5千万円(前年同四半期比216.9%増)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益4億9千4百万円及び減価償却費4億4千万円による資金の増加、売上債権の増加4億2千3百万円及び法人税等の支払1億3千2百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4億1千2百万円(同5.9%減)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出3億8千2百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億3千2百万円(前年同四半期比2億5千8百万円の使用額)となりました。これは主に短期借入金5千4百万円の純増額、長期借入金1億8千万円の返済及び配当金9千1百万円の支払によるものであります。

■株式の状況

発行可能株式総数 37,600,000株
 発行済株式の総数 15,348,407株
 株主数 1,510名

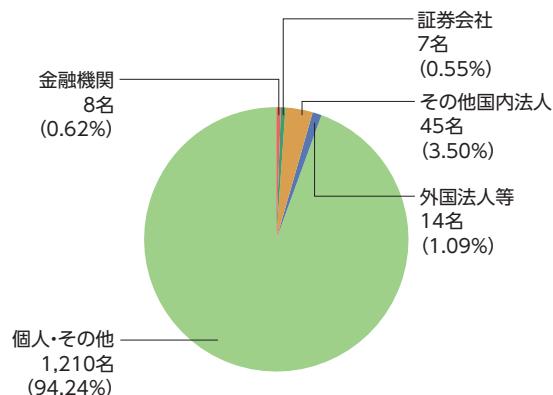
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社エノモト興産	2,000	13.0
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,165	7.6
有限会社エムエヌ企画	1,098	7.1
榎本保雄	590	3.8
株式会社山梨中央銀行	453	2.9
エノモト従業員持株会	422	2.7
櫻井宣男	234	1.5
榎本信雄	231	1.5
榎本貴信	224	1.4
櫻井妙子	220	1.4
榎本寿子	220	1.4

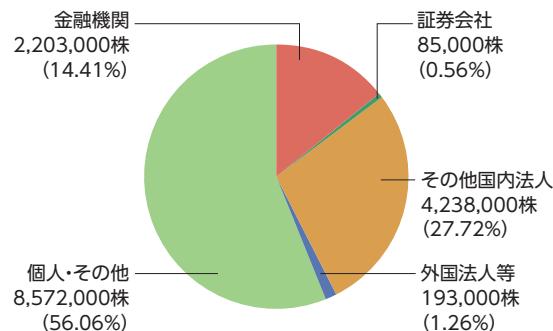
(注1) 2016年6月29日開催の第50回定時株主総会の決議により、2016年10月1日付で10株を1株とする株式併合及び1,000株を100株とする単元株式数の変更を行っております。これにより提出日現在の発行可能株式総数は33,840,000株減少し、3,760,000株となっており、また発行済株式総数は13,813,567株減少し、1,534,840株となっております。

(注2) 持株比率は自己株式(25,884株)を控除して計算しております。

所有者別単元株主数比率



所有者別単元株式数比率



■会社概要 (2016年9月30日現在)

社名	株式会社エノモト
本社	山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554 (62) 5111
創業	1962年7月1日
資本金	4,149,472千円
従業員数	435名
事業内容	各種電子部品用プレス加工品及び 射出成形加工品の製造販売
子会社	ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc. ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd. ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.

■役員 (2016年9月30日現在)

代表取締役社長	武内延公	取締役(社外)	倉田明保
常務取締役	伊藤一恵	常勤監査役(社外)	土屋義夫
取締役	櫻井宣男	監査役(社外)	平井雅規
取締役	小澤志郎	監査役	佐藤益男
取締役	白鳥誉		
取締役	成田幸則		
取締役	久嶋光博		

■国内拠点

本社
〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19
TEL 0554 (62) 5111 FAX 0554 (63) 4193

営業部
〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19
TEL 0554 (62) 5112 FAX 0554 (62) 4319

本社工場
〒404-0036 山梨県甲州市塩山熊野666番地
TEL 0553 (32) 1111 FAX 0553 (32) 1159
〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19
TEL 0554 (62) 5115 FAX 0554 (62) 4089

津軽工場
〒037-0017 青森県五所川原市大字漆川字玉椿191番地1
TEL 0173 (33) 0570 FAX 0173 (34) 5206

岩手工場
〒028-1131 岩手県上閉伊郡大槌町大槌第10地割39番地
TEL 0193 (42) 8511 FAX 0193 (42) 8513

ホームページのご案内

<http://www.enomoto.co.jp>

最新の当社IR情報等をご覧ください。



| 海外拠点



フィリピン・カビテ第2工場、グローバルな需要に向けてフル稼働



2015年11月に竣工いたしましたENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc. のカビテ第2工場は、各種生産設備の搬入・設置が概ね終了いたしました。

カビテ工場は、従来から金属プレス工程・メッキ工程・樹脂成形工程のすべてを持ち、日本企業が数多く進出しているフィリピン国内におきましても稀有な、一貫生産を可能とした工場でありましたが、カビテ第2工場は特に樹脂成形加工に照準を当て、海外における高品質かつ高付加価値な製品の生産を目的とした工場です。カビテ第2工場は、生産効率だけでなく品質管理体制や業務管理体制におきましても、従来以上の高い水準の追求を可能とするものです。

当工場からはフィリピン国内の他、アジアを中心とした各国に向けて製品を出荷しており、グローバル戦略の要として、重要度は高まり続けると考えられます。

今後もENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.に、ご注目とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
本店及び全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・「配当金計算書」について
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。
*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6928

いいかぶ

検索



空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpに空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄給(図書カード500円)を進呈させていただきます

ENOMOTO Co.,Ltd.



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

